平成 30 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

空港振興課

1　施設の概要等

施　設　名	広島県広島ヘリポート		
所　在　地	広島市西区観音新町四丁目		
設　置　目　的	広島県の航空運送の用に供する		
施　設　・　設　備	基本施設（着陸帯等），航空灯火，通信施設，気象観測施設		
指　定　管　理　者	期目	H27.4.1～R2.3.31	日本空港コンサルタンツ・大成有楽不動産連合体

2　施設利用状況

	年度		目標値 ［事業計画］	実績	対前年度 増減	対目標 値増減
利用 状況	1期	30	ノータム（※注）の発行依頼を行うような事故及び施設等の障害の発生件数　0回	0回	0回	100%
		29	ノータム（※注）の発行依頼を行うような事故及び施設等の障害の発生件数　0回	0回	0回	100%
		28	ノータム（※注）の発行依頼を行うような事故及び施設等の障害の発生件数　0回	0回	0回	100%
		27	ノータム（※注）の発行依頼を行うような事故及び施設等の障害の発生件数　3回以下	0回	0回	100%
	(導入前)		―	0回	―	―
増減 理由	法令及び広島ヘリポート保安管理規程等の順守及び日常点検，各種点検等を適切に行うことで，施設機能の維持に努め，目標値を達成した。					

※注：ヘリポート内での航空機事故の発生時や設備・施設等の障害発生時に出す情報

3　利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象･人数】
	広島ヘリポート連絡会を開催し，使用事業者との意見交換や協議を実施（年6回開催）	使用事業者7者
	【主な意見】	【その対応状況】
	夜間のロータリー付近の保安･防犯体制の向上要望	保安・防犯体制の向上について広島西警察署と連携し，対応していく。

4　県の業務点検等の状況

項　目		実績	備　考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	業務実績報告書，利用状況報告書等
	日報（必要随時）	○	日常点検結果，苦情，トラブル等について随時報告
管理運営会議（6回・現地）	【特記事項等】 ・使用事業者も交えた消防・救急訓練等の実施により，継続的な危機管理体制の共有が必要。 ・施設の老朽化が進んでおり，計画的な修繕が必要。 【指定管理者の意見】 ・各種訓練の年間実施計画を作成し，使用事業者等を交え，計画的，定期的な訓練を実施することにより，危機管理体制の共有を図っていく。 ・小規模修繕について，日常点検等により，施設の不具合箇所の早期把握・修繕に努めていく。 【県の対応】 ・大規模修繕について，利用者等の安全確保や緊急性等を加味し，計画的に実施する。		
現地調査（会議開催に合わせて実施）			

5　県委託料の状況

（単位：千円）

県委託料（決算額）	年度		金額	対前年度増減	料金収入（決算額）	年度	金額	対前年度増減
	1期	30	131,088	4,429		（該当なし）		
		29	126,659	△1,165				
		28	127,824	△986				
		27	128,810	△76,279				
	（導入前）		205,089	－				

6　管理経費の状況

（単位：千円）

項目			H30 決算額	H29 決算額	前年度差	主な増減理由等
委託事業	収入	県委託料	131,088	126,659	4,429	予備自家発電機の点検年度であったための増
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	131,088	126,659	4,429	
	支出	人件費	42,413	39,058	3,355	管理職員の増
		光熱水費	4,137	3,900	237	電気，ガス，水道代の増
		設備等保守点検費	14,740	11,744	2,996	予備自家発電機の点検年度であったための増
		清掃・警備費等	23,460	23,460	0	
		施設維持修繕費	517	640	△123	小規模修繕の減
		事務局費	20,226	22,313	△2,087	旅費及び一般管理費の減
		運行業務費	24,500	25,111	△611	管理運用業務に係る経費の減
		その他	2,316	1,130	1,186	気象観測装置等の点検年度による増
		計(B)	132,309	127,356	4,953	
		収支①(A−B)	△1,221	△697	△524	
自主事業（※）	収入(C)		100	100	0	「空の日フェスタ」開催に係る経費支出の減
	支出(D)		406	529	△123	
	収支②(C−D)		△306	△429	123	
合計収支(①+②)			△1,527	△1,126	△401	

※　自主事業：指定管理者が自らの責任で，更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7　管理運営状況

項目		指定管理者 （事業計画，主な取組，新たな取組など）	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による，県民サービスの向上 ○業務の実施による，施設の利用促進 ○施設の維持管理	法令及び広島ヘリポート保安管理規程等を順守するとともに，定期的な訓練の実施により，施設の安全体制及び航空保安体制の確立並びに安全な航空輸送に資することができた。 ７月の豪雨災害においては，広島ヘリポートに隣接する危機管理課管理エリアでの離着陸など特別な運用にも対応し，安全な施設管理や航空輸送に資することができた。 保育園や小学校等を対象にした見学会を開催するなど，県民サービスの向上に努めるとともに，パンフレットやホームページの作成，「空の日フェスタ」の開催により，施設の認知度向上に寄与した。 日常点検や法令に基づく各種点検等を適切に行うことで，施設機能の維持に努めた。	航空事故及び重大インシデント（事故には至らないものの危険な事態）の発生件数は０件であり，７月豪雨災害への対応等，特殊な出来事があった中でも，法令及び広島ヘリポート保安管理規程等を順守した適切な管理運営ができている。 見学会や「空の日フェスタ」において，使用事業者等に協力を依頼し，県警・市消防航空隊等の訓練の様子やドクターヘリの見学を行うなど，県民サービスの向上に努めるとともに，パンフレット等の作成により，施設及び県施策の認知度向上に寄与している。 日常点検や法令に基づく各種点検等を適切に行い，適切な維持管理を行うことができている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正	各業務の実施にあたり必要となる専門的知識や資格を有する者を配置した。 ７月の豪雨災害においては，一時的に管理事務所の人員を増員するなど，臨機応変に対応し，効率的な業務運営を行った。	各業務の実施に必要な専門的知識や資格を有する者が適所に配置されており，突発的な業務にも臨機応変に対応するなど，施設を適切に管理運営していく上で必要な組織体制が確立できている。
総　括		施設の適切な管理運営及び維持管理を図ることができており，安全な航空輸送サービスの提供に資することができた。 「空の日フェスタ」の開催やパンフレット及びホームページの作成等，利用者サービスの向上や施設の認知度向上を図っている。	指定管理者の管理運営ノウハウ及び県との緊密な連携により，施設の安全体制及び航空保安体制の確立並びに安全な航空輸送サービスが提供できており，施設の設置目的に沿った適切な管理運営が行われている。 利用者サービスの向上に努めており，施設の利用促進及び認知度向上に寄与している。

8　今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 （令和元年度）	○日常点検等により，施設の不具合箇所の早期把握・修繕を実施し，施設の機能保持を図っていく。 ○法令及び広島ヘリポート保安管理規程等を順守するとともに，定期的に訓練等を実施し，引き続き安全な航空輸送サービスの提供に努める。	○適切かつ効率的な管理運営が行えるよう，引き続き指定管理者と緊密な連携を図っていく。 ○訓練等が効果的なものとなるよう指導・助言を行うことで，安全な航空輸送サービスの提供に資する。
中期的な対応	○県の施設更新計画等を考慮しながら，効率的・効果的な施設の機能保持を図っていく。 ○施設の広報媒体を充実するなど，引き続き施設の認知度向上及び施設に対する県民の理解度向上を図っていく。	○法令及び広島ヘリポート維持管理更新計画書等に基づき，施設の機能保持のため計画的に施設更新・修繕等を行っていく。 ○指定管理者と連携し，引き続き施設の認知度向上や県民の理解度向上を図っていく。